

団体名 : ラテン音楽振興団体市川エージェンシー

事業名 : ペペサンチェス国際トロバフェスティバル in サンティアゴ・デ・キューバ

事業日程 : 平成 21 年 3 月 18 日 ~ 3 月 23 日

開催地 : キューバ・サンティアゴ市

2009年3月18日よりキューバ国で開催された音楽フェスティバル「ペペサンチェス国トロバフェスティバル」へ文化発信交流事業の助成を受け、参加出演してまいりました。

私どもラテン音楽振興団体市川エージェンシーとしては、2002年ボレロデオロ黄金の「ボレロフェスティバル」、2005年「CUBA DISCO国際音楽祭」に出演した経験がありますが、いずれも首都ハバナでの開催でした。

今回の音楽祭の開催地・サンチャゴは、私達が演奏する「ソン」という音楽またルンバ発祥の地と言われています。今回その地を訪れその地で演奏出来た事を大変うれしく光栄な事と思っております。

3月18日～3月23日の日程で開催されたこの音楽祭は、サンチャゴ市内数箇所の会場でトロバの音楽家が出演しました。

WBCの日本対キューバ戦の日程とも重なり、キューバ人から「日本人か」と随分尋ねられました。

日本からも沢山のラテンファンがこの音楽祭を観に50人以上はいたと思われ、その方達と交流出来たこともうれしく思っています。

音楽祭では、まず初日(18日)にサンチャゴ音楽協会でのオープニングセレモニーに参加し地元新聞からの取材も受けました。

その後、アルテックスと言う中庭のパチオのようになった会場で、私達はドスソネスコラソネスとジョイントステージをやりました。オリジナルのソン「ミソンサブロッソ」やキューバのスタンダードを演奏しました。特に「Yolanda」は会場で大合唱でした。



19日はあのトローバの名門「カサデトローバ」に出演。トローバの聖地と呼ばれるこの場所で演奏する事は大変光栄なことです。キューバのアーティストでもこの場所へ出演する人は限られています。トローバの家の外には中の演奏を聞こうと若いミュージシャンで溢れかえる程でした。

私達はお昼の部、午後出演となりました。朝から昼の部は行われており沢山の有名なミュージシャンの演奏や歌声を聞く事が出来ました。

私達は前日同様、ドスソネスコラソネスとジョイントで出演。日本からのお客様も沢山来ており、ダンスとライブを楽しみながら私達のステージを大いに盛り上げ応援していただきました。

昼の部終了後、音楽協会が手配したバスでサンチャゴ市の霊園でのセレモニーに参加。

セレモニーではキューバ音楽の歴史について色々なお話をききました。

翌日はステージ出演前にPositvationFilmというアメリカなどにキューバ音楽を紹介しているメディアの取材を受け、北海道についての説明と日本の音楽シーンについてお話をしてみました。

北海道にラテン音楽を広めたいと願っている私たちにとって、本場キューバの音楽祭での様々な出会いや発見は大変有意義なものとなりました。

年々変化しつつあるキューバのラテン音楽ですが、この街にはまだ古き良き時代のキューバ音楽があったような気がします。

